

## 政策評価調書(22年度実績)

政策名	地域と世界をつなぎふれあい楽しむツーリズムの推進		政策の目的等	個性豊かな大分の地域資源に磨きをかけ、多くの県民が自信、誇り、愛着を持てる魅力ある地域づくりと、地域に活力や競争力を生み出す国際交流の推進により、国の内外から訪れる人と地域住民がふれあい楽しむツーリズムをめざす。	主管部局名	企画振興部
	政策コード	IV-1			担当課室名	観光・地域振興局

### 【政策を取り巻く社会経済情勢】

今後の動向	<p>九州新幹線の全線開業や高速道路の低料金化等に伴い、団体旅行から個人旅行へのシフトや、移動エリアの拡大など、本県観光を巡る環境が大きく変化する中で、観光客のニーズに応えた受入れ体制の整備や誘客対策の一層の充実が求められている。</p> <p>地域づくりと観光とが一体となった「ツーリズム」をより一層推進する上で、地域資源を「磨いて」観光商品化を図り、観光客の受入れ体制を「つくり」、観光地を「繋いで」広域観光を推進し、そして国内外から観光客を「いざなう」取組が求められている。</p> <p>経済発展などにより、今後拡大が見込まれる中国や韓国、台湾その他のアジア地域など、国内外からツーリズム客を誘致することが求められている。特に、個人旅行ビザの要件が緩和され、増加が期待される中国人個人旅行者(FIT)の誘致や受入れ態勢の整備が喫緊の課題となっている。</p> <p>今後も成長が見込まれるアジアの活力を取り込み、本県産業の活性化を図るため、海外戦略に基づき体系的に施策を推進する必要がある。また、県内留学生数が人口あたり日本一であることから、留学生が安心して学べる環境づくりや留学生の能力を生かした地域づくり、経済発展に貢献してもらう体制づくりが求められている。</p>
-------	---

### 【政策を構成する施策の評価結果】

施策名		評価結果		政策との関連度
		業績評価	主管部局評価	
1	観光と地域づくりを一体とするツーリズムの推進	達成	現状維持	◎
2	地域を活性化する国際交流の推進	達成	拡充	◎

### 【構成する施策に対する意見・提言】

<p>〔安心・活力・発展プラン2005推進委員会における意見・提言〕</p> <p>○九州新幹線開通に対しては、ゆっくりとした時間を過ごせたり、珍しい電車を走らせるなど、対極のものを用意し、その中で大分の魅力をアピールしてはどうか。</p> <p>○高速道路無料化により、車での移動が多くなるが、案内標識がなければ観光客の「不安・不便・不自由」を解消することは出来ない。</p> <p>○看板や標識は、景観を損なわず且つ統一されたものを設置すべき。</p> <p>○今まで、韓国、台湾からの観光客が重要視されていたが、今後は個人ビザ解禁により増加する中国人観光客をいかに吸収するかが重要。</p>	<p>〔県政モニターからの意見・提言〕</p> <p>○大分県内の「昭和の遺産(豊後高田の昭和の町、別府の竹瓦温泉など)」をネットワーク化して、観光の目玉にしてはどうか？</p> <p>○より多くの中国人観光客に大分県に来て貰うために、中国人の個人観光客向けの「モニターツアー」を実施してみてはどうか？</p> <p>○大分県出身の有名人を活用した観光宣伝(大分県観光大使)を考えてみてはどうか？</p>
--	--